

# 近畿中国局フォレスターNEWS

## 低コスト再造林現地検討会を開催（広島県）

近畿中国森林管理局では、フォレスター活動を推進するためのケーススタディ地区として神石高原町を設定し、民有林・国有林が連携した支援モデル活動の取り組みを行っています。

この取り組みの一環として、11月10日 神石高原町において、広島県、広島北部森林管理署、広島森林管理署、神石高原町の共催で、再造林コストの低減につながる施業技術の確立と普及を目指した「低コスト再造林現地検討会」を開催しました。当日は、広島県内の森林組合や林業事業者はもとより、島根県、山口県の行政機関等からも参加があり、総勢89名で実施しました。

午前中は、三和公民館で座学として、国有林で実施してきている「一貫作業システム」について広島北部署から、また、一貫作業地へのコンテナ苗の植栽効率や植栽後1年経過した林床の状況などについて広島県林業課から説明を行い、一貫作業システムやコンテナ苗について理解を深めました。また、会場内には局森林技術・支援センターから、植栽後3年経過したコンテナ苗の見本が展示され、生育状況等の説明がありました。

午後からは、通ヶ谷山国有林の一貫作業地に場所を移し、地元森林官から現地の概要や主伐・再造林の事業内容を説明し、その後実際に作業に携わった請負事業者から、作業方法や今後の課題などについての説明を行いました。

生産請負者からは、「立木伐採前の灌木刈り払いや全木集材することで、造材後の枝葉等が機械で効率的に集積できる」ことなどについて説明がありました。また、造林請負者及び参加者からは、一貫作業システムの課題として、「枝条が多少残った林床で効率的に植栽はできても、下刈作業工程等に支障があるのではないか」との意見も出されました。

コンテナ苗による一貫作業システム事業は始まったばかりで、今後、灌木の繁茂や下刈の開始時期、作業システムの構築・作業者間の連携などについて検証や事例を重ねつつ、引き続き民有林・国有林が連携して再造林コスト低減につながる取り組みを行っていきたいと考えています。



座学 三和公民館（神石高原町）



通ヶ谷山国有林（神石高原町）

## 平成28年度森林・林業交流研究発表会を開催

近畿中国森林管理局は、11月29～30日に、局大会議室で森林・林業交流研究発表会を開催しました。

発表課題は26課題で、特別発表等が5課題ありました。発表者は、当局管内の森林管理署等に加え、高校、林業大学校、森林整備センター、県の研究機関、森林組合、地域おこし協力隊等と多岐にわたり、発表内容も、シカ被害対策が5件、治山が5件、低コストへの取組が5件、竹・広葉樹が3件、ナラ枯れが2件、地域連携・環境教育が6件と多くの分野に亘っていました。

全ての発表も甲乙つけがたいものでしたが、選考審査により以下の発表が表彰されました。

- 近畿中国森林管理局長賞：大阪府森林組合式「丸太交差工」について（大阪府森林組合）、シカによる緑化被害の対策について（和歌山森林管理署）、広葉樹数種の単木材積に関する調査～その推定方法とその活用～（岡山県農林水産総合センター森林研究所）
- 森林総合研究所関西支所長賞：シカ防護柵の取組について（現地立木の利用）（広島北部森林管理署）
- 林木育種センター関西育種場長賞：コンテナ苗等を用いた成長量の比較（山口森林管理事務所）
- （一社）日本森林技術協会理事長賞：大杉谷国有林における防鹿柵設置による森林植生の回復について（三重森林管理署）
- （一財）日本森林林業振興会会長賞：立木を利用した斜め張り防護柵のシカ侵入防止効果の検証について（岡山森林管理署）
- 森林・林業交流研究発表会審査委員長賞：新見市地域おこし協力隊（林業男子）2年目の挑戦（新見市農林課、同市地域おこし協力隊）、トラップ法を用いたカシノナガキクイムシの防除に関する研究（大阪府立園芸高等学校）

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

## 編集後記

研究発表会で受賞の皆様、おめでとうございます。

右の写真は、大阪府森林組合の「大阪府森林組合式（丸太交差工）について」の発表の様子です。

